

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月4日

上場会社名 いすゞ自動車株式会社

上場取引所 東

コード番号 7202 URL <http://www.isuzu.co.jp/investor/index.html>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 細井 行

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部総務グループリーダー (氏名) 甲山 博敏

TEL 03-5471-1141

四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	187,366	△54.9	△14,603	—	△16,236	—	△16,592	—
21年3月期第1四半期	415,195	—	20,261	—	21,925	—	17,689	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△9.79	—
21年3月期第1四半期	10.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	1,026,944	322,787	26.4	160.14
21年3月期	1,026,786	331,773	27.3	165.61

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 271,376百万円 21年3月期 280,636百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	3.00	—	0.00	3.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

現時点では、平成22年3月期配当予想額は未定であります。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	480,000	△44.2	△29,000	—	△34,000	—	△36,000	—	△21.24
通期	1,080,000	△24.2	△18,000	—	△26,000	—	△20,000	—	△11.80

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照下さい。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 1,696,845,339株 21年3月期 1,696,845,339株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 2,261,031株 21年3月期 2,234,999株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 1,694,601,230株 21年3月期第1四半期 1,695,078,953株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他に関する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

2. 平成22年3月期の配当は、現時点で判断する業績予想を鑑み、未定とさせていただきます。予想額の開示は可能となった時点で速やかに開示いたします。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益や設備投資が引き続き大幅に減少しており、景気は厳しい状況が続いております。

また、海外でも、欧米を中心に景気は後退を続けております。先行きにつきましては、景気は持ち直しに向かうことが期待されますが、雇用情勢の悪化、世界的な金融危機の影響など、景気をさらに下押しするリスクが懸念されます。

このような状況の中で当社グループは、さらなる効率化等によるコスト体質の改善および継続的な緊急対応策の実施により、業績の向上に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結会計期間の国内車両販売台数につきましては、シェアを伸ばしたものの、需要の著しい減少により、前年同期に比べ7,408台（51.1%）減少の7,081台となりました。海外車両販売台数につきましては、主にアジアおよび中近東地域において車両販売が急速に減速し、前年同期に比べ65,912台（64.1%）減少の36,847台となりました。この結果、国内と海外を合わせた総販売台数は前年同期に比べ73,320台（62.5%）減少し、43,928台となりました。

その他の商品の売上高につきましては、海外生産用部品は、アフリカおよび南米地域への輸出が減少し、前年同期に比べ155億円（59.5%）減少の106億円となりました。また、エンジン・コンポーネントでは、主に国内販売およびアジア地域への輸出の減少により、前年同期に比べ392億円（67.7%）減少の187億円となりました。

これらの結果、売上高につきましては、1,873億円と前年同期に比べ2,278億円（54.9%）減少いたしました。内訳は、国内が785億円（前年同期比43.3%減）、海外が1,088億円（前年同期比60.7%減）であります。

損益につきましては、合理化努力にもかかわらず、売上高が減少したことにより、営業損失は146億円（前年同期は202億円の利益）、経常損失は162億円（前年同期は219億円の利益）となりました。

また、四半期純損失は165億円（前年同期は176億円の利益）となりました。

【所在地別セグメントの業績】

① 日本

景気後退により需要が減少する中、国内および輸出車両売上がともに減少し、売上高は1,279億円（前年同期比56.1%減）となりました。また、営業損失は183億円（前年同期は100億円の利益）となりました。

② 北米

北米では、小型トラックを中心として販売台数が引き続き減少し、売上高は147億円（前年同期比35.5%減）となりました。また、管理業務の効率化を進めたものの、営業利益は4億円（前年同期比40.3%減）となりました。

③ アジア

タイ生産のピックアップトラックの売上が減少したことに加え、前年同期と比べ円高が進んだことによる為替影響により、売上高は520億円（前年同期比61.2%減）となりました。また、営業利益は15億円（前年同期比81.0%減）となりました。

④ その他の地域

需要が急速に減速する中、主に豪州で販売台数が減少したことに加え、円高による為替影響を受け、売上高は115億円（前年同期比44.1%減）、営業利益は1億円（前年同期比89.4%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1億円増加の1兆269億円となりました。新規借入の実行により現金及び預金が180億円増加した他、たな卸資産が21億円増加しております。一方、受取手形及び売掛金が245億円減少しております。

純資産の部では、為替換算調整勘定が59億円増加したものの、四半期純損失を165億円計上したこともあり、純資産は前連結会計年度末に比べて89億円減少し、3,227億円となりました。自己資本比率は26.4%（前年度末27.3%）と減少しております。

有利子負債につきましては、前連結会計年度末に比べて334億円増加の3,593億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の見通しにつきましては、各国の経済対策の効果により景気回復の兆しはあるものの、予断を許さない状況にあります。

このような状況の中で当社グループは、さらなる効率化等によるコスト体質の改善および継続的な緊急対応による業績の向上に取り組んでまいります。

当連結会計年度の連結業績の見通しは、それぞれ以下のとおりであります。

[連結業績の見通し]

売上高	10,800億円
営業利益	△180億円
経常利益	△260億円
当期純利益	△200億円

(△は損失を示します)

※当連結会計年度の見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が合理的と判断した見通しであり、世界経済の情勢や市場の動向、為替相場の変動などリスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績はこれら見通しと大きく異なる場合がありますので、この当期連結会計年度の見通しに全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えるようお願いいたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

③ 経過勘定項目の算定方法

経過勘定項目については、合理的な算定方法による概算額で計上しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

① 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	129,339	111,245
受取手形及び売掛金	108,217	132,781
商品及び製品	83,218	77,425
仕掛品	10,197	9,371
原材料及び貯蔵品	28,598	33,029
繰延税金資産	9,488	9,492
その他	29,833	27,863
貸倒引当金	△1,612	△1,570
流動資産合計	397,281	399,638
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	113,627	102,372
機械装置及び運搬具（純額）	91,738	92,475
土地	269,287	269,289
リース資産（純額）	5,460	3,777
建設仮勘定	18,686	31,811
その他（純額）	11,623	12,681
有形固定資産合計	510,423	512,408
無形固定資産		
その他	9,292	8,970
無形固定資産合計	9,292	8,970
投資その他の資産		
投資有価証券	84,226	81,732
長期貸付金	4,139	4,107
繰延税金資産	7,906	7,734
その他	23,395	21,834
貸倒引当金	△9,720	△9,640
投資その他の資産合計	109,947	105,769
固定資産合計	629,663	627,148
資産合計	1,026,944	1,026,786

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間末
(平成21年6月30日)前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成21年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	141,992	161,516
短期借入金	89,107	84,287
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
リース債務	1,575	1,351
未払法人税等	3,187	3,187
未払費用	27,319	32,472
賞与引当金	15,533	10,835
製品保証引当金	3,147	3,565
預り金	3,590	3,674
その他	21,920	26,942
流動負債合計	317,374	337,833
固定負債		
社債	43,000	43,000
長期借入金	211,368	184,521
リース債務	4,248	2,704
繰延税金負債	4,641	4,366
再評価に係る繰延税金負債	55,818	55,818
退職給付引当金	58,411	57,702
長期預り金	1,271	1,249
負ののれん	356	379
その他	7,666	7,438
固定負債合計	386,782	357,179
負債合計	704,157	695,012
純資産の部		
株主資本		
資本金	40,644	40,644
資本剰余金	50,427	50,427
利益剰余金	128,742	145,407
自己株式	△571	△570
株主資本合計	219,243	235,908
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,827	1,340
繰延ヘッジ損益	△131	△45
土地再評価差額金	73,266	73,195
為替換算調整勘定	△23,830	△29,762
評価・換算差額等合計	52,133	44,727
少数株主持分	51,410	51,137
純資産合計	322,787	331,773
負債純資産合計	1,026,944	1,026,786

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	415,195	187,366
売上原価	359,362	176,112
売上総利益	55,832	11,253
販売費及び一般管理費	35,571	25,856
営業利益又は営業損失(△)	20,261	△14,603
営業外収益		
受取利息	1,361	179
受取配当金	208	16
負ののれん償却額	77	23
持分法による投資利益	2,240	—
受取賃貸料	245	51
為替差益	1,371	174
その他	830	356
営業外収益合計	6,334	801
営業外費用		
支払利息	1,910	1,594
持分法による投資損失	—	292
訴訟和解金	1,779	50
その他	981	497
営業外費用合計	4,671	2,435
経常利益又は経常損失(△)	21,925	△16,236
特別利益		
固定資産売却益	11	94
その他	54	74
特別利益合計	66	169
特別損失		
固定資産処分損	88	130
非連結子会社等投資及び債権評価損	—	71
たな卸資産評価損	712	—
その他	296	65
特別損失合計	1,097	267
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	20,894	△16,335
法人税等	1,101	494
少数株主利益又は少数株主損失(△)	2,102	△236
四半期純利益又は四半期純損失(△)	17,689	△16,592

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	20,894	△16,335
減価償却費	9,927	9,929
負ののれん償却額	△77	△23
持分法による投資損益(△は益)	△2,240	292
退職給付引当金の増減額(△は減少)	205	476
製品保証引当金の増減額(△は減少)	218	△576
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,984	4,689
貸倒引当金の増減額(△は減少)	58	85
受取利息及び受取配当金	△1,570	△196
支払利息	1,910	1,594
固定資産売却損益(△は益)	△11	△94
固定資産処分損益(△は益)	88	130
その他の特別損益(△は益)	765	52
売上債権の増減額(△は増加)	29,477	25,824
たな卸資産の増減額(△は増加)	△28,881	546
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△2,919	1,162
仕入債務の増減額(△は減少)	6,454	△19,737
未払費用の増減額(△は減少)	△4,242	△6,034
預り金の増減額(△は減少)	907	△74
その他の負債の増減額(△は減少)	2,343	1,980
その他	△61	△192
小計	39,233	3,498
利息及び配当金の受取額	3,929	2,648
利息の支払額	△878	△898
法人税等の支払額	△8,760	△1,092
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,524	4,156
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△988	△8
投資有価証券の売却による収入	0	1
固定資産の取得による支出	△14,098	△16,411
固定資産の売却による収入	160	1,761
長期貸付けによる支出	△477	△91
長期貸付金の回収による収入	18	22
短期貸付金の純増減額(△は増加)	59	143
定期預金の純増減額(△は増加)	164	△1
その他	55	△1,544
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,105	△16,129

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△9,684	△4,306
長期借入れによる収入	4,035	37,918
長期借入金の返済による支出	△439	△2,672
社債の償還による支出	△60	—
リース債務の返済による支出	—	△303
自己株式の取得による支出	△12	△2
配当金の支払額	△7,648	△17
少数株主への配当金の支払額	△2,238	△194
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,047	30,420
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,750	1,308
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	620	19,756
現金及び現金同等物の期首残高	149,721	116,198
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	901	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	151,243	135,955

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

当社グループは、自動車及び部品並びに産業用エンジンの製造、販売（自動車事業）を主な事業としており、全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額及び資産の金額の合計額に占める自動車事業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

当社グループは、自動車及び部品並びに産業用エンジンの製造、販売（自動車事業）を主な事業としており、全セグメントの売上高の合計および営業利益の合計額に占める自動車事業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

b. 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
外部顧客に対する売上高	253,674	22,308	119,083	20,130	415,195	—	415,195
セグメント間の内部売上高	37,899	567	14,856	522	53,844	△53,844	—
計	291,573	22,875	133,939	20,652	469,040	△53,844	415,195
営業利益	10,009	778	8,413	1,368	20,569	△308	20,261

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
外部顧客に対する売上高	115,526	14,201	46,343	11,294	187,366	—	187,366
セグメント間の内部売上高	12,456	559	5,658	256	18,930	△18,930	—
計	127,983	14,760	52,001	11,550	206,297	△18,930	187,366
営業利益（損失）	△18,304	464	1,598	144	△16,097	1,494	△14,603

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によります。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米 … 米国

(2) アジア … シンガポール、中国、フィリピン、タイ、インドネシア

(3) その他の地域 … オーストラリア、南アフリカ、ドイツ

3. 前第1四半期連結累計期間および当第1四半期連結累計期間における配賦不能営業費用はありません。

4. 会計処理の方法の変更

前第1四半期連結累計期間

重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

当第1四半期連結累計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）に変更致しました。

この結果、従来の方法に比べ、「日本」の営業利益に与える影響は軽微です。

c. 海外売上高

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	23,609	127,090	126,134	276,834
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	415,195
III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%）	5.7	30.6	30.4	66.7

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	13,810	56,402	38,645	108,858
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	187,366
III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%）	7.4	30.1	20.6	58.1

（注）1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によります。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1)北米 … 米国

(2)アジア … 中国、タイ、インドネシア、フィリピン

(3)その他の地域 … サウジアラビア、ポーランド、エクアドル、南アフリカ、オーストラリア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

地域別販売実績

前第1四半期連結会計期間および当第1四半期連結会計期間の販売実績は、次のとおりです。

		前第1四半期連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)		当第1四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		増減	
		台数(台)	金額 (百万円)	台数(台)	金額 (百万円)	台数(台)	金額 (百万円)
	国内	5,232	42,519	2,254	19,456	△2,978	△23,062
	海外	8,438	37,379	4,092	17,783	△4,346	△19,595
大型・中型車計		13,670	79,898	6,346	37,239	△7,324	△42,658
	国内	9,257	27,851	4,827	14,976	△4,430	△12,874
	海外	94,321	142,597	32,755	48,890	△61,566	△93,707
小型車他計		103,578	170,449	37,582	63,867	△65,996	△106,581
	国内	14,489	70,370	7,081	34,433	△7,408	△35,937
	海外	102,759	179,976	36,847	66,673	△65,912	△113,303
車両計		117,248	250,347	43,928	101,106	△73,320	△149,240
	海外	—	26,153	—	10,601	—	△15,552
	海外生産用部品	—	26,153	—	10,601	—	△15,552
	国内	—	12,236	—	3,143	—	△9,093
	海外	—	45,707	—	15,582	—	△30,125
エンジン・コンポーネント		—	57,943	—	18,725	—	△39,218
	国内	—	55,754	—	40,931	—	△14,823
	海外	—	24,996	—	16,001	—	△8,995
その他		—	80,750	—	56,932	—	△23,818
	国内	—	138,361	—	78,507	—	△59,853
	海外	—	276,834	—	108,858	—	△167,976
売上高合計		—	415,195	—	187,366	—	△227,829

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。